#### 事業計画書

#### 2023年6月1日から2024年5月31日まで

特定非営利活動法人教員サポート Smile ういんず

### 1 事業実施の方針

### ・活動費を確保し、学校や個々の教員の困り感に対応するサポート事業

学校現場は依然として多忙化、人手不足の困難を抱えながら、感染症対応から通常の教育活動への回復期を迎えている。当法人が増加する一方のサポート依頼に応え、フットワーク良く困り感に対応していくためには、安定した活動費確保が欠かせない。賛助会員が一層寄付しやすくなるように認定 NPO 法人を目指すとともに、新たな助成金申請先を探し、チャリティバザーのやり方を工夫するなどしていきたい。また、近年低調なねこの手サポート(有料)についても教育団体に働きかけ、現職教員の負担軽減に協力したい。今年も年度末まで安定したサポートを続けるために期ごと・学校ごとの上限を設け、学校現場の状況を見ながらサポートを実施していく。学校や個々の教員が望んでいる支援を的確に捉え、学校サポート事業を実施したい。

### ・サポーターの安全とやりがいに配慮

今年度からクラスサポートの支払い方法が変わる(7月からサポート開始、個人口座支払い)。提供会員が納得してサポートできるよう、市教委と調整していく。感染症による学級閉鎖中もサポートに入るので、心配を取り除きながら、得意を生かしてやりがいをもって活動できるように配慮する。そのためには、業務報告書の内容や連絡会等での生の会員の声を良く聞くとともにいろいろなサポートが依頼されるように学校や教育団体へ働き掛けていく。サポート対応者一覧表を作成してサポート対応の回数やサポートの実情を把握し、共通の問題を情報共有していく。学校への要望も事務局から伝えていく。サポートに役立つ研修も実施する。

## ・人とシステムが円滑に動くメリハリある事務局運営

事務局の仕事量が増加し、役割分担を工夫して情報設備を整えてもオーバーワークになりがちである。受益者である学校に受付時間を明示し、会議は軽重を考えて場所を選ぶなどメリハリのある事務局運営が求められる。今あるものを活かしながら、互いに助け合うシステムが円滑に動くようにしていく。SNS(LINE 等)の活用、チーム会議や事務局外部の情報専門家に相談できる「PC 相談室」の他、繁忙期には事務局外の会員からも事務補助をお願いし、会員の力を活かしていきたい。

#### ・サポーターと学校との関係性を活かし、応援する人を増やす広報

3年にわたるコロナ禍中も地道にサポートを続けてきたサポーターと学校との信頼関係は強いものがある。サポート先で個々の教員の声を拾い、Smile ういんずの活動を知ってもらうことに力を入れたい。また外部に向けて広報する機会が戻って来たので、積極的に当法人の活動を広報し、資金援助者を増やしたり、情報交換したりしていきたい。昨年度ご縁のあった全国の皆さんとも細く長く連携を保ちたい。市教委との連携に努め、教員と子どもたちがこれからの学校と社会の変化に適応しやすくなる環境作りを考えていきたい。

# 2 事業の実施に関する事項

# (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予 定 人 数	支 出見込み額
退職教職員の 実働を提供し て小・中学校 をサポートする事業 (学をサポート事業)	<ul><li>・学校の依頼を受けて担任等の不在時に学習等のサポートをする。(担当不在サポート)</li></ul>	·2023年 6月~ 2024年5 月	・新潟市内 全区の小学 校・東西特 別支援学校	42 人	・サポート に入った 学校の児 童・教職 員(160 校)	410 コマ 1102. 5 千円
	<ul><li>・市教育委員会の 委託を受けて特別な配慮の必含むの子どもを含む クラスのサポートをする。 (クラスサポート)</li></ul>	・2023 年 7 月~ 2023 年 12 月	・新潟市内 全区の小学 校	30 人	・サポート に入った 小学校の 児童・教 職員(65 校)	257 コマ 1831. 8 千円
個人の教職員 や教育団体の 繁忙期をサポ ートする事業 (ねこの手サ ポート事業)	・学校等の依頼を 受けて事務作業 に特化したサポ ートをする。 (事務作業サポー ト)	・2022 年 6月~ 2023 年 5 月	<ul><li>・新潟市内の幼小中学校</li><li>・教育関係団体</li></ul>	20 人	・サポート に入った 学校や団 体の職員 (10 校)	43. 2 千円
	<ul> <li>・教育団体及び子育団体の運営などをサポート)</li> <li>・個人の教職員・子育などを変化を変化を変化をできます。</li> <li>・個人の教職員の教育を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を変化を</li></ul>		・相談して 決定した場 所	15 人	・サポート した教育団 体・個人 (5 件)	57.6 千円
学校現場や教 職員に役立つ セミナー・イ ベントを行う 事業	単独開催セミナ 一等は実施しな い。					